

入院から継続したリハビリで、 今では孫を抱っこできるまでに

療養病棟から退院し、当院通所リハビリを利用されている方です。入院当初、右腕は麻痺で上がらず体力も気力も低下しベッドで過ごすことが多かったそうです。現在では、棚へ物をいれたり、買い物で荷物を運んだりと動作の幅が広がっています。

そこで、軽作業やボランティア等の社会参加の提案をしました。

ご本人からは「上の棚へ物を載せたり、3歳になる孫を抱っこできたり、できることが増えた。でも仕事を考えると今はそこまでの体力がないと思う。」と不安を抱えていました。今後は自信をつける事、活動範囲が広がる事を目標に、体力向上と安全な動作の遂行を目指して支援していきたいと考えています。



リハビリ新聞
豊田えいせい病院



2021年
4月25日
第24号

レール走行式免荷リフトを導入



回復期リハビリ病棟内に、新しくリフトを設置しました。脳卒中の麻痺がある患者さんでは、左右のバランスを崩しやすく、上半身を保てないことがあります。身体への過剰な負担を減らすことで、安定しながら安心して歩行練習ができます。万が一ふらついても床へ倒れることはありません。医師の指示の下、脳卒中発症早期から歩行を開始し、身体機能向上に努めています。

杖の特徴と選び方 ～リハビリ小ネタ～

4月に入り暖かくなってきました。外へ散歩に出かける方も多くなってきたのではないのでしょうか。そこで歩く時に使用する杖について紹介します。

杖を1本だけ使用する場合は、基本的には不自由な足と**反対側**の手で持ちます。

T字杖

最も一般的な杖です。伸縮式や折り畳み式もあり、持ち歩きにも適しています。使うには腕の力がある程度必要です。

多点杖

ふらつきが大きい人が使用する事が多いです。平らな場所や屋内で使用すると安定の良いタイプです。

ロフトランド杖

上部に腕を通す輪(カフ)があるので握力が衰えている人や腕の力が弱い人が使用することが多いです。



○使用しやすい場所

屋内

多点杖
サイドウォーカー

+屋外

T字杖
ロフトランド杖

当院では嚥下造影検査 (VF)
嚥下内視鏡検査 (VE)
を行っています

豊田えいせい病院 診療技術部

回復期リハビリ科 TEL : 0538-34-6123 FAX : 0538-34-6231

療養リハビリ科 回復期リハビリ科と共通

通所リハビリ科 TEL : 0538-34-6223 FAX : 0538-34-6222

訪問リハビリ科 TEL : 0538-34-6137 FAX : 0538-34-6231